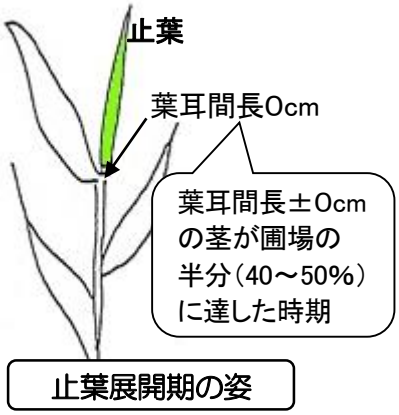
大麦特報（第4号）

令　和　３　年　３　月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

今年は積雪が多かったものの、3月の気温が高めに推移したため、**大麦の生育は平年よりやや早く**進んでいます。今後も平年より高い気温で推移した場合、止葉展開期は4月2日～5日頃（出穂期は4月13日～16日頃）となる見込みです。
高品質・高収量の大麦を目指し、**防除や排水対策を徹底**しましょう。

1. 止葉展開期の追肥



◎分施体系

地域により生育に差があるため、ほ場ごとに止葉が展開したことを確認し、生育量や葉色に応じて追肥をしましょう。

※追肥時期が早いと整粒歩合が低下し、施用時期が遅れたり、施用量が多いと倒伏や硝子粒の発生増加につながります。
下記の目安を参考に、適期に施用しましょう。

【分施体系ほ場の追肥の目安】

追肥時期	葉色	㎡当たり茎数	10a当たり施用量
4月2日～5日頃	5未満	670本未満	硫安5～10kg
		670本以上	硫安5kg 以内
	5以上	－	追肥しない

注）肥効調節型基肥（LP大麦48号）を使用した場合は、原則追肥しない。

2. 赤かび病の防除

赤かび病は、特に**開花時（1回目）の防除が重要**です。**適期の2回防除**に努めましょう。
（下表は現時点での防除時期の目安です。ほ場ごとに必ず開花状況を確認し、防除しましょう。）

	1回目	2回目
防除時期	**穂揃期（開花始め）** **4月16日～19日頃**	1回目から7日後
粉　剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
液　剤	トップジンM水和剤 1000倍液　150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液　150ℓ/10a

※可能な限り防除効果の高い、液剤体系としましょう。
※無人ヘリコプター等での散布では希釈倍率が異なるので確認してください。
※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

3. 排水対策の徹底

排水不良ほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。溝に滞水しているほ場は、早急に**排水溝の手直し**を行い、排水を促しましょう。

春の農作業安全運動（4月1日～5月31日）